

第2回 台東区景観まちづくり賞 受賞作品及び活動

建築部門 2件(応募総数13件)

リノベーション部門2件(応募総数4件)

活動部門2件(応募総数4件)

名称:東京国立博物館 正門プラザ



選定委員の評価:
高さを抑え、歴史的建築物への景観に配慮しながら、端正な品の良さを感じさせるデザインである。

名称:福嶋自宅



改修前

改修後

選定委員の評価:
鋳鉄製窓手すりを生かしつつ、木製の建具が景観形成に寄与している。緑との調和も図られ、リノベーションとして好感が持てる。

名称:台東区まちづくり協力員会



選定委員の評価:
地域の高中生との街歩きは、区全体の景観意識の向上に大きな意味がある。20年近い継続的な活動を通じ、商店街活性化を地域から支援している。

名称:IKETEI VILLA



選定委員の評価:
周辺と調和しながらも当建築の個性を出す結果ともなっているとともに、独自性を生み出そうもしている。隣接するビルとうまく調和した景観をつくりだしている。

名称:浅草雷門通り商店街アーケード



改修後

改修前

選定委員の評価:
緑、黒、朱の配色が浅草らしい景観をかもしだしている。雷門に沿った商店街として、江戸の情緒を感じさせる景観づくりに成功している。これによりこの地域の活性化と伝統を呼び起こす景観となっている。

名称:谷中コミュニティ委員会



選定委員の評価:
40年近い地道な活動が、地域住民に根付いている事を物語っている。灯籠祭りなど季節の風情を愉しむイベントの開催は、良質な景観形成につながると考える。